

ワークショップ 5月26日(木)(土肥支所) 5月26日(木)

テーマ	意見
建設 防災 環境	<ul style="list-style-type: none"> • 地区要望として、市道河川等を5件以内で検討して要望している。合併以来同じ要望をしているがなかなか実行されない。防災等の要望は優先して実行してほしい。 • 地域防災について、民間でできないか。防災士の資格、AEDの資格、持っている人がたくさんいるので、組織化するなどして、災害発生時に早い復興につなげてほしい。
観光・産業	<ul style="list-style-type: none"> • 空き店舗の活用について、松崎の取り組みを参考に、市の補助金で移住者が土肥・天城の中心地の空き店舗を活用できるようにしてほしい。将来、土肥小学校の跡地を駐車場にするなど、活性化策を長期的に考えていきたい。 • 仕事をする場所がない。山越えしないと働くところがない。高校に通うようになるのと親と一緒に引っ越すことも多々ある。地元に通じる場所をもつてくることをもっと考えてほしい。 • 観光が伊豆市の産業の中心といっても、従来の経営者の後継者がいない。外部の資本がかなりはいつている。サービスが画一的になってしまい、伊豆市としての魅力がなくなってしまうのではないかと心配。リピーターを作れるようにみんなで考えて実行してもらいたい。紙に書いたものを配るだけでなく、若い人からお年寄りまでみんなに直接語りかけて話し合いをしてほしい。 • 米崎港のトイレが無くなってしまった。夏場は人気で大勢が訪れる。今年の夏が乗り切れるか心配である。作ってほしい。 • 旧土肥総合会館にあったトイレが無くなったため、釣り人が周辺で用を足すので不衛生。観光地としても、衛生的にも困る。松原公園に、身体障害者用トイレがない。 • トイレについては大藪、中浜、漁協組合長、話し合っている。堤防から公園まで遠いので、問題があることは共有されている。港湾にあったトイレの方が駐車場からのアクセスもよくてよかった。 • 県が作った遊歩道の一部であるトイレについて、管理は地元が負担しろと言われても困る。管理まで県なり市がやるべき。トイレ用地は現在固定資産税免除だけで、地代なしの無償提供では土地の提供者がいない。 • ふるさと納税について、西伊豆との差が大きい。伊豆市は少ない。なぜか。旅館、ホテルが協力してふるさと納税の増加に努めてほしい。返礼品を検討してほしい。
教育・福祉	<ul style="list-style-type: none"> • 文教ガーデンシティ事業は、伊豆市の将来を考えるといいこと。予算がかかるが実現してほしい。駅から少し離れているので、道路をどうするか、バス路線などのアクセスをどうするか考えてほしい。 • 公立図書館(天城・土肥)について、赤字かもしれないが、地域に図書館を整

教育・福祉	<p>備することは大事。小学生などが地域の歴史を勉強するのに図書館は必要。郷土資料館もおおいに活用してほしい。修善寺だけにすべてを集中させるのではなく、経費が掛かっても図書館は維持整備して残すべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の統合は、歴史的にみて賛成する人はいない。しかし長い歴史の中で統合はあたりまえに行われてきた。一時大変かもしれないが、統合を進めてほしい。 ・土肥に大きい病院がない。修善寺までいっても受診できないこともある。観光地なのに病院がないのはどうか。山を越えないと病院がないのは困る。日赤を充実されてほしい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・伊豆市の市長選挙と市議会議員選挙を同日にできないのか。1600万円もかかるなら。議員の努力で同日選挙をやってほしい。 ・財政、税金 人口減について、税金減を見据えて、早め早めに長期的対策をみんなで考えてほしい。その場しのぎでは必ず破たんすると思う。